

平成29年度 事後事務事業評価シート

事業名	里・山を活用した新開拓民的働き方の再構築と環境資源を持つ新たな価値創出による起業の推進と生産世代の移住促進事業	担当課・グループ	作成者（職・氏名）
		産業経済課・農林業グループ	主査 宮 久史

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成28年度	事業主体	会計区分	予算科目			
	事業終了年度	平成32年度	町	一般	7	1	3	984
事業の性質	法令に基づかない自主的的事业			条例等の有無	無			
根拠法令・例規計画等								
総合計画	基本目標	みのり豊かなあつま						
	基本施策	商工業の振興						
	施策項目	起業・新分野への進出と6次産業化への支援						
	※総合戦略	みのり豊かなあつまー商工業の振興ー起業化支援の充実						

2 事業概要 (Plan)

事業の目的	移住・定住、U・Iターンの増加を図ることを目的に、仕事の創出及びその支援と住環境の整備を併せて行う。
事業の内容 (手段・方法等)	①仕事の創出及びその支援：林業の6次化に向けた試作品の制作。バイオマスエネルギー利用による産業及び雇用の創出に向けた事業可能性調査。地域で起業する人材（ローカルベンチャー）の育成・支援のための研修合宿（ローカルベンチャースクール）の開催と情報発信。 ②住環境の整備：移住者向け住宅の建設や空家の改築の実施 ③町の人・モノ・仕事発信事業：町のPRを目的としたHPの作成と定期的な記事の作成・配信 ④森林・地域づくりアドバイザー招聘：全事業を俯瞰的に捕え改善点を指摘することに加え、新たな事業等について町に対し助言を与えるアドバイザーの招聘
対 象	移住・起業検討者、町内自治会、空き家所有者、厚真町を知らない市民
成果目標	①-1広葉樹・カラマツを使用した新商品の試作（2商品以上） ①-2バイオマスエネルギー利用に向けた事業可能性調査報告書の作成 ①-3ローカルベンチャースクールへのエントリー数（エントリー数6名/年） ②空家の改築 ③-1 移住者向け起業関連HP作成と定期的なコンテンツの更新（webページの設置、記事掲載36本程度/年） ③-2HPへのアクセス者数（10千人/年以上）

3 実施結果 (Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移		26年度実績 (評価対象前々年度)	27年度実績 (評価対象前年度)	28年度実績 (評価対象年度)	29年度予算 (評価実施年度)	適 用
総事業費		0	0	38,728	8,285	
事業費		0	0	37,488	7645	
特定財源	国・道支出金			37,251	3,449	
	町債					
	その他					
	一般財源			237	4,196	
人件費 (@4,000*時間数)				1,240	640	事務事業時間配分計算表（別紙）により算定
事業費の主な内訳	旅 費			237		
	需用費					
	役務費					
	委託料			37,251		

② 実績・成果

指標名称		26年度(実績)		27年度(実績)		28年度(見込)		32年度	
		(評価対象前年度)		(評価対象年度)		(評価実施年度)		(目標年度)	
		数値	単位	数値	単位	数値	単位	数値	単位
主な活動指標	ローカルベンチャースクール(LVS)の開催	目標				1	回	1	回
		実績				1	回	1	回
		達成度		%	%	100	%		%
	※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する								バイオマス関連での雇用者数4名
主な成果指標	ローカルベンチャースクールによる移住・定住者数	目標				2	世帯		世帯
		実績				3	世帯		
		達成度		%	%	150	%		%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する					※LVSの参加者10名			
主な成果指標	販売可能な地域材を用いた 新商品数	目標				2	製品		製品
		実績				4	製品		製品
		達成度		%	%	200	%		%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する								開発された商品を製造する製材工場での雇用者数(15名)
主な成果指標	起業関連HPへのアクセス者数	目標				10	千人	50	千人
		実績				10	千人		
		達成度		%	%	100	%		%
	※数値化できない成果や指標の変更等について記載する								

4 事業の評価 (Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か？	A	地域として仕事を創出することに加え、移住者自らが起業することや、既存の町内事業者が新規事業を手掛けることで、町内の働き先を確保し生産世代の移住・定住を図ることは町の課題解決策として妥当である。
有効性	期待された成果が得られたか？	A	主に起業家育成支援の取り組みにより移住者を3世帯・9名確保できたことから有効である。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か？	B	移住者を確保する上で直接影響のある事業に加え、将来の移住者確保、仕事作りに向けた事業も含まれている為、現在の成果に対する事業費は割高となっている。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等

予算	継続(拡大)	サービス	継続(拡大)	方向性	拡大
理由	バイオガスや林業6次化に関する調査結果によっては、事業費が拡大する可能性がある。				
課題および改善提案	町民への事業内容の説明が不足していることから、町の広報誌や町民が参加出来るイベント等を実施し、事業への理解を深めてもらう。現在、起業家人材育成事業を実施しているのは、町外事業者であることから、町内で当該事業を担える事業者を育成する。町の他事業(例：田学連携、移住フェアへの出展、サテライトオフィス整備事業等)とより連携を深め、成果の向上を目指す。				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択。

6 評価 (本欄は、理事者ヒアリング・内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	拡大
意見	本事業は町外事業者や移住者が深く関わる事業であるため、町民の理解を得るためにも、町民向けのPRを積極的に行うこと。				

7 外部評価委員会評価結果

予算	継続（現状維持）	サービス	継続（現状維持）	方向性	拡大
附帯意見	<ul style="list-style-type: none"> 今年度（H29）に行う稲わらの利活用可能性調査は、多くの可能性を秘めているため、積極的に活用を検討すべき。 				
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> 稲わらを集める組織を”自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業”を活用して募集してみてもどうか。 				

評価に対する町の考え方

- 稲わらバイオガス化試験の結果は、町民に対し説明することを検討します。説明する方法についても今後検討します。
- 稲わらの収集について、ローカルベンチャーのテーマの一つとして打ち出すかどうかについては、事業の採算性について十分に精査した上で検討します。